

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	青少年関連団体補助事業			会計	款	項目	大	小
				01	10	05	10	01
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	生涯学習課			
施策	3-3	次代を担う青少年を育てる地域環境づくり		主管課長	中西 直人			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	青少年指導センター補導員連絡協議会 学校警察連絡協議会	意図	青少年に「愛のひと声」を掛けることによって、健全で明るい社会環境をつくる。また、児童生徒の健全育成のために関係機関と連携を図る。
事業内容	青少年の健全育成及び非行防止を図るために、関係団体を支援し、かつ関係団体との連携を深めることで、活動の充実に努める。			
事業開始から現在までの状況変化	青少年補導員の情交換及び資質向上のため補導員連絡協議会が組織された。また、学校と警察及び関係機関との情報の共有や交換の場として、学校警察連絡協議会が組織された。双方とも開始時から情報交換や研修の場として活動している。また、年々情報交換や研修会の内容等の充実に努めている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	補導活動従事者数	2,598	2,278	2,644	人	↑↑↑	午前860人、午後581人、薄暮155人、夜間1,048人
②	青少年の補導件数	209	115	84	件	↓↓↓	小学16件、中学41件、高校24件、大学1人、有職者2人	
③	学校警察連絡協議会構成員数	40	40	40	人	→→	役員10人、生徒指導主任30人	
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 学校警察連絡協議会と青少年指導センター補導員連絡協議会や関係機関との間で、情報の共有や連携の在り方を協議したことで、青少年健全育成の推進が図られている。また、年々と情報共有の場としての会議や関連研修の内容の充実に努めている。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		6,644,600	6,522,200	6,566,552				
事業費(b)(円)		585,000	585,000	707,152				
うち一般財源		585,000	585,000	707,152				
職員給与と費(c)(円)		6,059,600	5,937,200	5,859,400				
人役・職員(人)		0.80	0.80	0.80				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)		0.40	0.40	0.40				
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	流山市青少年指導センター補導員連絡協議会、流山市学校警察連絡協議会及び関係団体と連携を密にし、情報等の共有を図り青少年の健全育成事業に役立てる。	③取組における課題(Check)	保護者から学校、学校から警察との情報や報告等に提供の時間等を要している場合が少なくない。このため、学校への提供時間等の短縮等共有の在り方について再検討を行う。
②H30に実施した取組(Do)	計画に基づき、各団体において会議や研修を実施に適した内容のものとし、より充実した連携や共有化を図るための取組を行った。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	情報提供や発信及び連携等の在り方、内容の質と量を高め、より効果的な情報共有と連携を図る。